

歩行空間ネットワークデータ

歩行空間ネットワークデータは、段差や勾配などのバリア情報を含んだ歩行経路の空間配置及び状況を表すデータで、歩行経路を示す「リンク」及びリンクの結節点を表す「ノード」で構成されています。

歩行空間ネットワークデータを用いることで、道幅の狭い場所、段差等を避けた、個人の身体的状況やニーズに応じたバリアフリー経路の検索を行うアプリケーションを作成することができます。(図 1)。

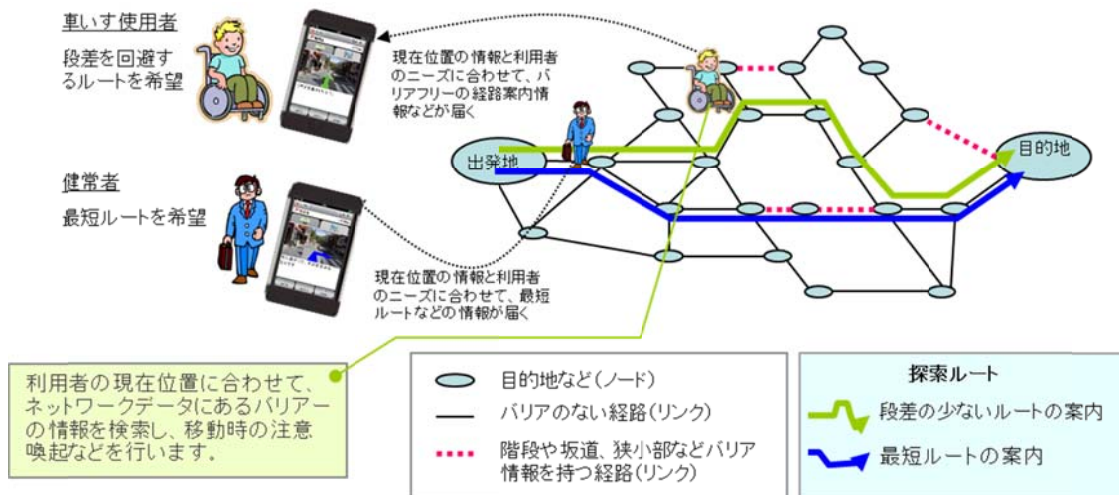


図 1 歩行空間ネットワークデータを利用したサービスのイメージ

(参考)

- ・国土交通省「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案」

<http://www.mlit.go.jp/common/000124059.pdf>

【リンクの属性情報と経路情報】

○データの形式： CSV 形式、shape ファイル※1

○リンクに対して設定される属性情報は以下の項目の通りです。

項目名	形式	内容
リンク ID	文字列	ID
起点ノード ID	文字列	起点のノード ID
終点ノード ID	文字列	終点のノード ID
リンク種 (経路種)	コード	1：自動車・自転車の通行空間分離あり 2：自動車・自転車の通行空間分離なし 3：動く歩道、エスカレーター 4：踏切、5：エレベーター、6：階段 7：スロープ、8：その他
有効幅員	コード	1：車いすの通行に問題なし（3.0m 以上） 2：車いすの通行可能（2.0m 以上～3.0m 未満） 3：車いすの通行に問題あり（2.0m 未満）
縦断勾配	コード	1：車いすの通行に問題なし（5%以下） 2：車いすの通行に問題あり（5%以上）
路面状況	コード	1：車いすの通行に問題なし 2：車いすの通行に問題あり（土、砂利等）
段差	コード	1：車いすの通行に問題なし（2cm 未満） 2：車いすの通行に問題あり（2cm 以上）
視覚障がい者誘 導用ブロック	コード	1：視覚障がい者誘導用ブロックなし 2：視覚障がい者誘導用ブロックあり
エスコートゾー ン	コード	1：エスコートゾーンなし 2：エスコートゾーンあり

※1 Shape ファイルの仕様については下記のページをご参照ください。

http://www.esrij.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/shapefile_j.pdf

【ノードの属性情報】

○データの形式： CSV 形式、shape ファイル※1

○ノードに対して設定される属性情報は以下の通りです。

種別	項目名	形式	内容
一般	ノード I D	文字列	ノード ID
	緯度経度 桁数コード	コード	1 : 1/10 秒単位、2 : 1/100 秒単位、3 : 1/1,000 秒単位の いずれか
位置情報	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM′ SS″ SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM′ SS″ SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	高さ	文字列	階層数(中間階は、「●.5」、屋外は「0」 を記入)
	接続リンク数	文字列	接続リンク ID の数
	接続リンク I D	文字列	接続するリンク ID を記入 ※接続するリンクの分、この文字列も増 える。